

マレーシア国ペナン島における持続可能な観光プロジェクト：科学系博物館の検討



財部香枝 TAKARABE Kae

中部大学国際関係学部国際学科教授

中部大学大学院国際人間学研究科副研究科長

名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程満期退学。博士（学術）。スミソニアン協会リサーチ・アソシエイト。専門は科学史、博物館学。近年は明治初期の気象学史（とりわけスミソニアン気象観測法の日本への導入過程）に関心を持っている。

ABSTRACT

The purpose of this project is to examine the characteristics of science museums in Penang, Malaysia, from a sustainable tourism perspective.

本研究プロジェクトは、マレーシア国ペナン島における持続可能な観光を主題とし、観光資源としての博物館、なかでも科学系博物館の実態調査を行い、その課題を検討するものである。ペナン島は、2008年7月、ジョージタウン地区がマラッカとともにマレーシア初のユネスコ世界文化遺産として登録されており、著名な観光地である。筆者は、①2016年1月、6名の国際関係学部教員で、②2017年9月、5名の同教員で、さらに③2018年2月、5名の同学部学生とともに、ペナン島を訪問した経験がある。①は日本留学経験があるガイド、②はマレーシア科学大学副田先生、③はマレーシア科学大学バディ（学生）にアテンドしていただいた。いずれも滞在時間が短かったために、ジョージタウン地区を中心に視察した。

こうした中、ガイドブックの博物館情報を見てみると、たとえば『るるぶ』（JTBパブリッシング）には、ペナン博物館の紹介があるのみである。一方、マレーシア政府観光局公式サイトによると、ペナンは、世界遺産地区ジョージタウン、ビーチライフ&郊外、アクティビティ、ダイニング&ショッピングの4つに分類された上で、次の博物館が紹介されている。

ペナン博物館 Penang State Museum

ペナンの歴史を豊富な史料で分かりやすく紹介。マレー、中国、インドの主要3民族の文化や移民の歴史のほか、20世紀初頭の日本人居住者やプラナカンについても紹介。

孫中山記念館 Sun Yat Sen Museum

中国革命のリーダー孫中山こと孫文が一時的に暮らした家で、革命を支援する活動家の拠点でもあった。19世紀後半建立。

テックドームペナン Tech Dome Penangt

コムター内にある、ペナン初の科学館。約120種類の科学体験ができる設備がある。小さな子供から大人まで楽しめるという。

エントピア Entopia by Penang Butterfly Farm

2016年に「ペナンバタフライファーム」のあった場所に完成した、昆虫と植物の自然調和の世界を体験できるネイチャーランド。特に、蝶とトンボ、蛍の保護を行っており、園内では15,000匹以上の蝶が自由に飛び回る。

このほか、ペナン国立公園 Penang National Park、トロピカル・スパイスガーデン Tropical Spice Garden、トロピカル・フルーツファーム Tropical Fruit Farm、ペナン植物園 Penang

Botanic Gardens、エコツアー型レジャー施設・ブキッ・メラ・オランウータン島 Bukit Merah Orang Utan Island が紹介されている。同サイトには紹介されていないが、マレーシア科学大学には、大学博物館および考古学博物館のほか、海洋研究所内展示室がある。

近年、博物館は観光資源として注目されている。こうした中、科学系博物館も文化の拠点としての取り組みを始め、観光客誘致に尽力してきている。なお、観光資源の分類体系（2014）によると、「人が創造した観光資源は全て人文資源に含める。文化的景観、産業遺産は人文資源に含める。博物館は収蔵する博物館資料が自然系・理工系に限られていても施設として捉えて人文観光資源とする。従って、動物園・植物園・水族館も人文観光資源となる」と定義されている。

2019 年度は、本プロジェクトの大学院生がペナンにて、どれくらいの科学系博物館があるのか、また、どのような科学知識が来館者と共有されているのかを調査した（詳細はパワーポイント資料参照）。今回の調査によると、予想以上の科学系博物館の存在が明らかとなった。この中には、2011 年 3 月の地震の際、ペナンはほぼ初めて甚大な津波被害を経験したが、津波に関する知識を共有するために新設された博物館も含まれる。2020 年度は、科学系博物館と SDGs17G との紐づけを確認し、科学系博物館の情報発信・観光資源化を検討していく。その際、観光地の情報が商業的価値に見合うもののみに縮小されていく傾向が指摘されてきており、この点に留意したい。また、観光客の関心は多様であることを、改めて理解する必要もあるだろう。¹

博物館の種類	Goals					
郷土・歴史	4	11	14	15	16	
美術	4	11	15	16	17	
自然史	4	7	11	14	15	16
理工	4	7	9	11	12	16
動物園・水族館・植物園	4	7	11	14	15	16

図 1. 博物館の種類と SDGs17G の紐づけ（清水 2019：6）

参考資料

- 清水玲子「SDGs と博物館：その課題と展望」『全日本博物館学会第 45 回研究大会発表要旨集』全日本博物館学会、2019：5-6
- 全国科学館連携協議会「文化の拠点としての科学系博物館の取り組み」『全科協ニュース』vol.48、no.5、全国科学博物館協議会、2018：2-8
- 中村浩・青木豊編著『観光資源としての博物館』芙蓉書房、2016
- 日本交通公社監修『美しき日本』JTB パブリッシング、2014
- 林良博「日本の大学と科学系博物館のゆくえ」『結晶』中部大学、2019：269-272
- 山口誠『グアムと日本人：戦争を埋立てた楽園』岩波書店、2007
- 山中速人『イメージの「楽園」：観光ハワイの文化史』筑摩書房、1992
- マレーシア政府観光局公式サイト（ペナン） <http://www.tourismmalaysia.or.jp/region/penang/index.html>

¹ 「絶対に行きたい！外国人旅行者の口コミに選ばれた国内人気美術館・博物館 TOP10」では福井県立恐竜博物館が 2 位となっている。